

Announcement

Kavli IPMU Newsは、2008年3月発行の創刊号以来、著しい発展を遂げたIPMU / Kavli IPMU と共に長い道のりを歩んできましたが、このNo. 45をもって刊行を終了致します。これまでご愛読いただきました皆様、ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

編集担当

Message from Readers

さまざまな取材でお世話になりました。誠にありがとうございました。前機構長の村山斉先生にはこの4月から、ご多忙な責務から（少しだけ？）解放されたチャンスをつかまえ、朝日新聞朝刊でコラム連載をいただいております。この春に新設した「教養面」のページで、隔週水曜日の掲載。題して「村山斉の時空自在」です。今後ともよろしく願います。

朝日新聞社・科学医療部
伊藤隆太郎

本誌がついに45号で終巻となると聞きました。Webによる広報発信が主流になってゆく流れの中で、格調高い形式と内容を崩さず、いつも表紙に「研究者の顔」を大きなサイズで掲げたKavli IPMU News は、新着書架に並んでいるだけで、思わず「なんだこれは」と人の手に取らせる圧倒的な力を持っていました。形式的に完全なバイリンガル構成であったこともユニークな特長でした。最先端の研究成果の解説、著名な研究者へのインタビュー、各種イベントのニュースなどがあり、手に取った人は必ずいくつかの記事に目を通したくなったことと思います。また、表紙の「顔」に加えて、新たに加わ

ったメンバーの顔も研究内容とともに毎号掲載され、内外に向けて組織の発展のアピールに貢献しました。

私も14号ではインタビューでIPMU 誕生前夜の話をし、35号ではRobert Williams 氏とのRound Table Talkで、宇宙の加速膨張の発見とハッブル宇宙望遠鏡の関わりの舞台裏を聞き出すことができました。何もないところから誕生して以来10年あまり、Kavli IPMUと共にありその発展を支えてきた flagship 広報誌がなくなることには一抹の寂しさを感じます。チーフエディターの中村健蔵さんをはじめとして長年発行に尽力された方々に心から敬意を表します。

東京大学名誉教授
岡村定矩

IPMU News は機構の発展と共に多くの忘れ難い出来事や研究上の重要な情報が詰まっている、IPMU の成長アルバムです。ゼロからスタートした IPMU が「目に見える国際研究拠点」として猛スピードで発展する姿を可視化する大きな役割を果たして来ました。

私がかつて在籍していた IPMU 事務部は『研究者天国』を作るために誕生した WPI 拠点特有の組織で

す。スタッフは、従来の国立大学では考えられないような自由な発想を持って、未知の領域に挑戦する機会を与えられました。そのような事務職員の姿も時には誌面に登場し、ユニークでチャレンジングであった事務部の様子をも垣間見ることができました。

IPMU News が今回で最終号となることは非常に残念ですが、50年後、100年後に Kavli IPMU の輝かしい業績を振り返る時、まず最初に紐解かれるパイプとなるものと確信しています。そして、私が現在在籍している本学二つ目のWPI 拠点であるニューロインテリジェンス国際研究機構 (IRCIN) においても IPMU のチャレンジ精神を受け継ぎ、IPMU News とはまた違った方法で目に見える足跡を残していく積りです。

東京大学ニューロインテリジェンス
国際研究機構 (IRCIN) 副事務長
小澤みどり

第45号が最後というアナウンスには気がつきませんでした。悲しい知らせです... この雑誌がとても好きでした。

Tea Break コーナーに思いついた最後の原稿を送ります。^{*}

ミネソタ大学数学科教授
アレクサンダー A. ボロノフ

^{*} 41 ページに掲載。